

**令和5年度  
札幌市自立支援協議会  
年間活動報告書  
＜分冊1 年間活動報告編＞**

札幌市自立支援協議会

令和6年6月

**SAPP\_RO**

はじめに

札幌市自立支援協議会とは、障がいのある方が地域で自立した生活を送ることができるよう、地域の障がい福祉の発展のために、中核的な役割を果たす協議の場として、平成18年に札幌市が設置した市の附属機関です。

現在、札幌市自立支援協議会の中には、全体会のほか、区ごとに設置されている地域部会、3つの専門部会（相談支援部会、就労支援推進部会、子ども部会）、協議会の運営に関する議論や寄せられた部会だけでは解決できない課題の交通整理をする運営会議、カテゴリごとに分類された地域課題の整理・課題解決に向けたモデル的活動などを実行するプロジェクトチームがあり、障がいのある方が安心して暮らせる地域づくりを目指した活動<sup>かつどう おこな</sup>を行っています。

このたびは、札幌市への報告のため、私ども札幌市自立支援協議会の令和5年度中の活動内容と、令和6年度の活動目標をこの報告書にまとめました。札幌市自立支援協議会へ報告されたものと同様な課題を抱える障がいのある方の暮らしや支援の参考として、また、今後の施策を検討する際の参考としていただければ幸いです。

札幌市自立支援協議会 会長 近藤 尚也

## 目次

1	各区地域部会	1
2	地域部会連絡会	24
3	相談支援部会	25
4	就労支援推進部会	27
5	子ども部会	29
6	専門部会連絡会	31
7	運営会議	32
8	全体会	35
9	重度身体障がい者の地域生活に関するプロジェクトチーム	37

# 中央区地域部会

## 令和5年度の主な活動実績

- ★ 月1回の定例会を開催
- ★ 毎月事務局会議を開催し、定例会開催の検討を行った。
- ★ 障害支援区分調査に関するアンケートを実施

### 活動概要

令和5年度 活動実績	<ul style="list-style-type: none"><li>・毎月（8月、12月、3月を除く）1回の定例会を実施した。</li><li>・事務局会議を毎月実施した。</li><li>・令和4年度より、札幌市における障害支援区分認定調査が外部委託となったが、これに伴い、生活実態に変化がないにもかかわらず、区分が下がる事例が発生していることから、実態を把握するため、8月に区内の関係事業所あてアンケート調査を実施した。</li></ul>
令和6年度 活動予定	<ul style="list-style-type: none"><li>・年間目標<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 「障がい児・者の生活全般に関わる法律・制度、関係する機関や資源の理解を深める1年にしよう」【地域づくり】</li><li>➢ 「より広く、より深く、顔の見える繋がりを作ろう」【連携】</li><li>➢ 「地域課題を発掘するとともに、その解決に取り組もう」【課題発掘と解決】</li></ul></li><li>・重点目標は「地域課題の吸い上げと、課題解決に向けた取り組み」<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 発掘した課題の解決に向けた定例会の実施</li><li>➢ 「まなびば」と「しゃべりば」の実施</li><li>➢ 令和5年度に実施した障害支援区分認定調査についてのアンケート結果を踏まえて、本人や家族、支援者に向けた「障害支援区分認定調査の心得」を作成</li></ul></li></ul>

## 部会運営で工夫していることや困っていること

### ・ 工夫していること

- 部会員のネットワークを構築するため、継続的に定例会を実施。
- 定例会は、「まなびば」＋「しゃべりば」の二本立てを基本に行っている。
- 「しゃべりば」は少人数のグループで「秘密厳守」を原則に、困りごとを相談できる場としている。その中で、地域課題を抽出していけるよう事務局員が配慮している。
- 課題解決の目的に合わせ、課題別・年代別のグループにするなど、組み合わせに工夫を行っている。
- 2時間まるごと「しゃべりば」とする定例会を開催して、定期的に課題抽出を行い、課題解決に向けた取り組みについて事務局会議で検討を行っている。
- 定例会に参加した人に何かお土産を持ち帰ってもらえるように工夫している。

### ・ 困っていること、今後取り組んでいきたいこと

- 中央区特有の地域課題をどのように抽出し、解決策を考えていくか（利用者の障がい特性に応じた関わり方や性的問題、他機関との連携のあり方、制度・資源の活用方法など）。
- 医療、児童、高齢者関係の参加者が少なく、今後、地域部会参加者の底上げをすすめるための方策をどのように行っていけばよいか。
- 事務局内に子ども部会の担当窓口となる人を選任していきたい。
- 定例会に参加することが難しい人にも、まなびばなどの中央区地域部会の取り組み内容を伝える方法を検討していきたい。

中央区地域部会 令和5年度実績一覧

開催日時	参加者数	プログラム	概要
第1回 4月19日	51名	<b>○中央区地域部会の取り組み</b> 多機能型事業所あずあいむ 片岡 正憲 様 <b>○令和4年度中央区地域部会年間活動報告</b> 就労支援事業所 あかり家 妻倉 ゆかり 様 (中央区地域部会会長)	年度初めの開催のため、前半の「まなびば」は、前年度の活動報告と中央区地域部会についてあらためて説明を行い、後半の「しゃべりば」は、テーマにとらわれずに困りごとの相談や地域部会で取り組んでいきたいことなどについて意見交換を行った。
第2回 5月17日	61名	<b>「事業所PR会」</b> ①アワーワーク札幌中央 本間 宏輔 様 ②フロンティアリンク札幌キャリアセンター 内藤 大樹 様 ③多機能型事業所 ジョブベース・びすと 嶋野 凌 様	4月定例会のしゃべりばにおいて、会社の理念を浸透させていくのが難しいという意見があったことなどから、3カ所の事業所から事業所PRをしてもらい、その中で、理念や支援の考え方などをどう事業所内で伝えているのかについてもご説明いただいた。
第3回 6月21日	50名	<b>「ピアサポーター、地域活動支援センターについて学ぼう</b> ①地域活動支援センターについて 地域生活支援センターさっぽろ 長岡 裕美 様、 鈴木 智仁 様 (ピアスタッフ) ②ピアサポーターの活動について 相談室ぼぼ 金田 博之 様	障がい当事者として自身の障がいや体験をもとに支援者として活躍している「ピアサポーター」、「ピアスタッフ」をお招きして、日頃の支援活動についてお話しいただいた。
第4回 7月19日	71名	<b>「対象者理解における事例検討の活用」</b> さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール (札幌市基幹相談支援センター) 主任相談支援専門員 赤杉 美香 様	これまでの定例会しゃべりばにおいて、「コミュニケーションがうまくとれない」、「本人の課題を捉えきれない」、「事例検討を行ってほしい」といった声が多く聞かれたことから、ワン・オールから講師をお招きし、対象者理解における事例検討の活用についてお話しいただいた。
第5回 9月20日	71名	<b>「事例検討会」</b>	7月定例会で学んだ事例検討の手法を用いて、実際に事例検討を行った。 当日は事務局において事例を2つ用意して、参加者を2グループに分けて実施。司会、板書は申込時に希望を確認し、希望者にも役割を担ってもらった。
第6回 10月18日	46名	<b>「令和5年度しゃべりばinちゅうおう」</b>	これまでの定例会しゃべりばにおいて、困りごとについて気軽に話せる場を求める声が多くあったことから、1時間半まるごと「しゃべりば」を行った。
第7回 11月15日	43名	<b>「実践発表会」</b> ①放課後等デイサービスえりく NPO法人はる 代表 河西 良介 様 児童指導員 山口 健太 様 ②児童発達支援・放課後等デイサービス かわせみの森 一般社団法人 子供と青い空 理事 登山 詩織 様	これまでの定例会しゃべりばにおいて、他事業所で具体的にどんな支援をしているか知りたいといった声が多くあったことから、5月定例会のPR会と比べ、より具体的な支援について2カ所の事業所から発表いただいた。
第8回 1月17日	65名	<b>「こんがらかったあり方を見直そう～コミュニケーション基本のき」</b> コミュニケーション・ナビゲーター 姉帯 美和子 様	これまでの定例会において、利用者との接し方や事業所内における上司部下との接し方など、コミュニケーションにまつわる困りごとが多く聞かれたことから、コミュニケーションナビゲーターをお招きし、コミュニケーションの基本についてお話しいただいた。
第9回 2月21日	77名	<b>「支援者のバーンアウト予防」</b> 医療法人北仁会 旭山病院 心理室 畠山 雪恵 様	これまでの定例会しゃべりばにおいて、時には利用者から厳しい言葉もあり精神的な負担となっていることや、研修や相談する機会を得られず支援者個人が抱え込むという状況を把握したことから、旭山病院から講師をお招きして、バーンアウト予防についてお話しいただいた。
		<b>障害支援区分認定調査に関するアンケート調査</b> (令和5年8月)	札幌市では、令和4年度より障害支援区分認定調査を委託しているが、生活実態に変化が無いにもかかわらず、区分が下がるケースがあり、区内関係事業所あて実態把握を行った。調査結果に基づき整理した課題については、今後定例会のテーマとして具体化していく予定。

# 北区地域部会

## 令和5年度の主な活動実績

- ★ 運営委員会、こども部会、相談支援部会の3つのチームで活動
- ★ 「権利擁護」をテーマとして地域の課題整理を行い、地域部会内で解決策を検討
- ★ 区民向けの学習交流会を開催、地域の交流を目的としたイベントへの参加

### 活動概要

令和5年度 活動実績	<ul style="list-style-type: none"><li>・運営委員会…毎月第3火曜日に開催（事前に事務局会議で内容を整理）<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 年間でテーマを決めて勉強会を開催</li><li>➢ 地域課題の整理について検討</li><li>➢ 7月 地域のイベント「ノースロード24 フェスタ2023」への出展</li><li>➢ 12月 学習交流会「重度訪問介護」</li><li>➢ 3月 区内事業所を対象に全体会・交流会を開催し、34名が参加。</li></ul></li><li>・こども部会…毎月第3月曜日に開催<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 9月 学習会「ヤングケアラーについて」</li><li>➢ 2月 学習会「ペアレントプログラムによる保護者支援の第一歩」</li><li>➢ 7月 交流会「北区の支援者カフェ」</li><li>➢ 1月 説明会「発達障害と福祉サービス説明会」</li><li>➢ 「北の区から（こども部会版）」の発行</li></ul></li></ul> <p>※地域の多職種の方にも参加いただき、地域連携の強化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・相談支援部会…3か月ごとに定例会を開催（前月に世話人会を開催）<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 10月 勉強会「札幌市の子どもコーディネーター」をゲストとして招き、活動について説明</li><li>➢ 「北区の地域課題解決情報シート」の作成・情報共有</li></ul></li></ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"><li>・9月に鉄西連合町内会との共催で、北九条小学校で北区防災訓練を開催し、障がい者の避難や車椅子操作について講習をした。</li></ul>
---------------	--

<p>令和6年度 活動予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営委員会：「広報」「学習会」「地域課題」の3チームを結成し、年間の活動を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 広報チーム：広報誌「北の区から」の編集、イベントお知らせチラシの作成・配布を行う。</li> <li>➤ 学習会チーム：年2回程度の学習会を企画・開催する予定。</li> <li>➤ 地域課題チーム：各事業所からの情報・事例を集めて共有する。</li> </ul> </li> <li>・地域のイベント「ノースロード 24 フェスタ」が中止となるため、これに替わるイベントを開催予定。</li> <li>・こども部会：「学習会」「説明会」「カフェ」「イベント」の4チームを結成し、年間の活動を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 他の区のこども部会との情報共有や連携を強化する。</li> <li>➤ SNS等を活用した情報発信の方法について検討する。</li> </ul> </li> <li>・相談支援部会 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ テーマを設定した学習会の計画・開催</li> <li>➤ 制度改正に対応した勉強会の開催の検討</li> <li>➤ 区内の相談室同士の意見交換会と相談支援部会との連携を検討</li> </ul> </li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の北区防災訓練は、10月に開催予定。障がい者の避難や車椅子操作の講習などに関わることを北区の地域安全担当と検討している。</li> </ul>
<p>部会運営で工夫していることや困っていること</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・対面とオンラインの双方の方法で会議を開催しているが、オンラインは会場まで行く手間が省けるというメリットがある一方で、会議の内容がオンライン参加者に伝わりにくいことや、オンライン参加者との議論が深まらないというデメリットもあるため、会議の開催方法について引き続き検討が必要。</li> <li>・自立支援協議会の認知度が低いという実情があるため、広報活動に力を入れていく必要がある。</li> <li>・対面とオンラインの双方の方法で参加が可能な学習会や交流会を企画するなど、多様な参加を促す工夫をしている。</li> </ul>	

# 東区地域部会



## 令和5年度の主な活動実績

- ★ 運営会議を毎月開催
- ★ 当事者、事業所、地域関係者が交流する「ふくしまルシェ」を開催
- ★ 東区地域部会全体会を会場・オンライン双方でハイブリッド開催
- ★ 子どもに関わる地域の関係者が集まり、意見交換や学びの場となる、子ども部会「ウエルトーク」を2回開催
- ★ 強度行動障がいに関する研修会（年間4回）を実施

## 活動概要

<p>令和5年度 活動実績</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 運営会議を毎月開催<ul style="list-style-type: none"><li>➤ オンラインの利便性も活かし、対面+オンラインのハイブリッド開催。</li><li>➤ 重度障がい者に関するアンケートから抽出した課題を分析・整理。また、これら課題に対する東区地域部会の取組について議論・検討。</li></ul></li><li>・ 11月4日（土）「ふくしまルシェ」を開催<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 障がい者、障がい事業所と市民が、ステージ発表、縁日、福祉バザーなどで楽しみながら交流を深めるイベントを開催。</li><li>➤ 障がいのある当事者がサイコロの出た目で決められたお話を話す「おしゃべり広場」も初開催。</li><li>➤ テーマは「つながる輪」。約500人が会場を訪れた。</li></ul></li><li>・ 3月8日（金）東区地域部会全体会を会場とオンライン双方のハイブリッド形式で開催<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 障がい者、障がい事業所、教育関係者など約50人が参加。</li></ul></li></ul>
-----------------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 「障がいがあっても住みやすい東区をつくろう！ ～知る、広げる、繋げる～」をテーマに、講演会・グループ交流などを通して障がい当事者のリアルな声を感じてもらい、生き生きとした暮らしを送るためのきっかけ作りを行った。</li> <li>・子ども部会「ウェルトーク」をオンラインで2回開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 8月29日（火）第13回ウェルトークでは、「不登校・ひきこもり支援の実際～自立ってなんだろう？～」をテーマに、事例説明やグループ交流を実施。</li> <li>➤ 11月27日（月）第14回ウェルトークでは、「身近で色々な視点から考えるインクルージョン」をテーマに、講演やグループ交流を実施。</li> </ul> </li> <li>・強度行動障がいに関する研修会（年間4回）を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 地域課題に対する東区地域部会の取組として研修を企画・実施。</li> <li>➤ より高度な専門性が必要とされる強度行動障がいのある方との関わりについて、座学、演習、グループディスカッションを実施。計4回の研修に合計約90人が参加。</li> </ul> </li> </ul>
<p>令和6年度 活動予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東区内で抱える地域課題への取組の実施</li> <li>・当事者、事業所、地域関係者が交流する「ふくしまルシェ」を開催</li> <li>・事業者、関係者に東区地域部会を知ってもらい、活動報告を行う場として全体会を開催</li> <li>・福祉サービス事業所同士のネットワーク作りを目的としてネットワーク部会「定例会」を開催</li> <li>・子ども部会「ウェルトーク」を開催</li> </ul>

### 部会運営で工夫していることや困っていること

- ・事務局会議、運営会議を開催し、密度の濃い検討・意見交換を行っている。
- ・身体、知的、精神それぞれの障がい当事者委員がいるメリットを生かし、当事者目線での事業実施や議論を行っている。
- ・会報誌「タピネット」を積極的に活用し、各種情報提供を行っている。
- ・各種会議やイベントの特性に合わせてオンライン開催やハイブリッド開催を行っている。
- ・委員それぞれの強みを活かし、各取組を推進している。

# 白石区地域部会

## 令和5年度の主な活動実績

- ★ 白石区独自の活動を模索しました。
- ★ 白石全体会としてBCP策定講座を北海道よろず支援拠点と協同して開催しました。
- ★ 毎月運営部会を対面にて開催しました。
- ★ 就労部会、基礎研修チームの活動を行いました。

## 活動概要

<p>令和5年度 活動実績</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 運営部会：毎月第2水曜日 10：00-12：00 白石区役所にて開催。<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 令和5年度の活動の方向性を検討</li><li>➢ 白石区の障がい福祉分野で働く人たちの質の向上のための研修方法を検討</li><li>➢ 白石区全体として地域課題となりうる事案を情報共有</li><li>➢ 各部会、チームの活動の進捗状況を共有</li></ul></li><li>● 白石全体会：BCP策定講座を北海道よろず支援拠点と共同開催<ul style="list-style-type: none"><li>➢ オンラインにて全道にむけて開催3回</li><li>➢ 白石区事業所に向けて対面で学習会を開催 令和5年9月27日(参加19事業所)</li></ul></li><li>● 初任者基礎研修チーム：運営委員のみならず、構成員に企画運営の参加を呼びかけ、若手職員が中心になって企画し年2回学習会を開催 令和5年7月14日【30名】令和5年12月8日【30名】</li><li>● 就労部会：就労BARと称し、白石区内の就労系事業所の交流会を開催 令和5年6月30日⑧【20名】・令和6年3月1日【20名】</li><li>● 子ども部会：札幌市自立支援協議会子ども部会の研修案内に留まり、独自の活動はできなかった。</li><li>● 事例検討会：事例提出者がおらず、事例検討チームとしての活動は困難と判断し、運営部会で開催を検討することとなった。</li></ul>
-----------------------	--

	<p>●防災に関しては特段検討はできなかったが、白石全体会にてBCP策定講座を開催することで、福祉事業所の防災対策について検討することで、意識の向上ができた。</p>
<p>令和6年度 活動予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営部会 毎月1回 第2水曜日 10:00-12:00 白石区役所にて開催。</li> <li>・就労部会：就労BAR 年2-3回開催予定</li> <li>・基礎研修チーム：年5回 学習会を開催予定</li> <li>・白石全体会：以下の活動を検討中 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 白石区を知ろう～そこからみえてくる課題を探る～（仮称）</li> <li>➤ 事例検討会開催</li> <li>➤ 地域連携について考える</li> </ul> </li> </ul> <p>●防災に関してはどのように取り組んでいったらよいか検討する。各関係機関などから現状について聞く場を設けるなど検討していきたい。</p>
<p>部会運営で工夫していることや困っていること</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども部会の中心であった副部長が退任し、子ども部会の活動が休止中となっている。子ども部会の再開ができるよう後任を探していきたい。</li> <li>・事例検討を望む声がある一方で、事例を提供したいという事業所がない。どのような事例検討を行ったらよいのか運営部会で引き続き検討していく。</li> <li>・白石区地域部会の活動をより活性化させるためには現運営部会の委員では人員的に不足しているため、興味のある構成員の方に各部会が開催する研修会などの企画運営に参加してもらえるよう周知していきたい。</li> <li>・白石区地域部会の活動が分野が限られているため広く相談、居宅、住居、こども、重度の方などを支援している方たちにも参加してもらえるような企画を考えていきたい。</li> <li>・障がい者と障がい児を支援する双方事業者間の交流やつながりが見える場づくりを検討したい。</li> <li>・地域包括支援センターなどと連携し、高齢の親と同居する障がいのある子どもなどの課題について検討していきたい。</li> </ul>	

# 厚別区地域部会



## 令和5年度の主な活動実績

- ★ 総会にてプチ交流会を実施（オンライン）
- ★ 幹事会を対面で実施
- ★ 4年ぶりの事業所交流会を対面で開催
- ★ 構成団体向けにヤングケアラーについての<sup>けんしゅう</sup>研修<sup>じっし</sup>を実施

## 活動概要

<p>令和5年度 活動実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奇数月に1回、幹事会を開催             <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 部会の運営について検討</li> <li>➢ 事例検討の実施</li> </ul> </li> <li>・地域部会を3回開催             <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 総会をオンラインにて実施。プチ交流会を行い、仕事のやりがいや人材確保についてグループワークを実施。</li> <li>➢ 第2回地域部会について対面にて、厚別の高齢・児童・障がいの事業所交流会を実施。地域部会の紹介とグループワークを実施。</li> <li>➢ 第3回地域部会をオンラインにて実施。ヤングケアラーへの支援について話題提供を受け、その後、グループワークを実施。</li> </ul> </li> <li>・三役・事務局会議を3回開催し、事前に論点を整理、素案の検討</li> <li>・8050問題をテーマに相談状況について毎月報告。</li> <li>・子どもチームにて、区内の子どもに関する事業所、保育園、幼稚園等に参加を呼びかけ交流会を開催。子どもコーディネーターの講話、グループワークを実施。</li> </ul>
<p>令和6年度 活動予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参集による事業所交流会を実施予定。</li> <li>・構成団体向けの勉強会を実施予定。</li> <li>・年3回の部会とは別に集える場について検討中。</li> </ul>
<p>部会運営で工夫していることや困っていること</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も参集型の研修会の開催を予定しており、区内での顔の見える関係づくりを進めていきたいと考えている。</li> <li>・年3回の開催となると交流できる回数や交流できる人が限られるという課題、もう少し小規模でフリートークのような形で集まれる場があったらよいのではないかという意見が出ているため、こういった形で実現していくかを検討していきたいと考えている。</li> </ul>	

# 豊平区地域部会



## 令和5年度の主な活動実績

- ★ 総会 事業所紹介&グループワーク（4月）
- ★ 定例会 学習会「札幌市自立支援協議会とは、豊平区地域部会とは」&グループワーク（7月）
- ★ 定例会 学習会「第1.2回防災学習会」&グループワーク（10.11月）
- ★ 運営委員会 13回開催（毎月）
- ★ 広報「アップルネットワーク」4回発行（R5年5、9、11月、R6年3月）
- ★ つきいち会（相談支援事業所を中心に情報交換などを行う）8回開催（R5年5、6、7、9、10、11月、R6年2、3月）

## 活動概要

<p>令和5年度 活動実績</p>	<p>4月 イオンの幸せの黄色いレシート ギフトカード贈呈 25,600円（部会の活動に活用する。）</p> <p>4月26日 定例会 総会&amp;事業所紹介（3事業所）&amp;グループワーク 参加者約70名</p> <p>7月26日 定例会 学習会「札幌市自立支援協議会とは、 豊平区地域部会とは」&amp;グループワーク</p> <p>10月25日 定例会 学習会 テーマ「要配慮者避難支援について」 ・要配慮者避難支援の概要 ・モデルケースを用いた個別支援計画の作成シミュレーション ・グループワーク</p> <p>11月28日 定例会 学習会 防災をテーマに第2弾</p>
<p>令和6年度 活動予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会：令和6年度に関しては、隔月で年6回開催を予定</li> <li>・運営委員会：月1回</li> <li>・事務局会議：必要時に開催</li> <li>・広報誌「アップルネットワーク」を3～4ヶ月毎に発行</li> <li>・イオンの幸せの黄色いレシートにて物品を購入し、部会の活動に使用</li> </ul>
<p>部会運営で工夫していることや困っていること</p>	
<p>○工夫していること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従前は、運営委員会を夜間に開催していたが、時代の変化に対応し、日中の開催に切り替えた事。それに伴い、運営委員は日中に各事業所の業務として運営委員会に参加できる方が中心となった。</li> </ul>	

○困っていること

- ・ 定例会開催の会場確保などに必要な予算が少ないこと

# 清田区地域部会

## 令和5年度の主な活動実績

- ★ 清田区内の障がい福祉サービス事業所、通所支援事業所、相談支援事業所を対象に研修会を開催した
- ★ 新たな専門部会として社会資源調査チームを設立した
- ★ 課題整理の手法（部会内での課題抽出、運営委員会での解決策）を検討した
- ★ 他団体との共催による研修会を実施した

## 活動概要

<p>令和5年度 活動実績</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・運営委員会を毎月1回対面にて開催<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 研修等の企画、運営に関する検討や振り返りを行った</li><li>➢ 新たな専門部会設立のため、活動内容の検討や地域部会の規約改正などを行った</li><li>➢ 他団体との共催研修について検討した</li><li>➢ 防災マップ、事業所マップの更新を行った</li></ul></li><li>・専門部会会議を開催 (こころのチーム、子ども部会、社会資源調査チーム)<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 専門部会の活動内容やセミナーの開催に向けた打ち合わせを行った</li></ul></li><li>・令和5年7月20日 全体会兼研修会の開催 (障がいのある方への災害支援について・グループワーク) 講師：高村 亮太氏（さっぽろ地域づくりネットワークワン・オール）</li><li>・令和5年10月10日 清田区地域部会・清田区障がい福祉関係者等ネットワーク会議との共催研修の開催 (日米の障がい者福祉制度の違い、障がい者が生きる社会的意義) 講師：早川 武彦氏</li></ul>
-----------------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和 5 年 11 月 15 日 こころのチーム・清田区在宅ケア連絡協議会との共催研修の開催        (精神科病院との連携について・グループワーク)        講師：鶴羽 康弘氏 (あしりべつ病院・清田区地域部会運営委員)              佐賀 良太氏 (さっぽろ香雪病院)              金盛 詩織氏 (清田区保健福祉課保健支援係)</li>   <li>・ 令和 6 年 2 月 22 日 子ども部会交流会の開催        (障がい児の相談支援事業について・交流会)        講師：生出 英樹氏 (相談支援事業所ノック・清田区地域部会事務局)</li> </ul>
<p>令和 6 年度 活動予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運営委員会           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 人材育成や事業者間の連携の強化、地域課題の抽出を目的とした研修会の開催を予定 (年 2 回程度)</li> <li>➢ 他団体との共催研修を予定</li> </ul> </li>   <li>・ こころのチーム           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 清田区在宅ケア連絡協議会との共催研修会、グループワークの開催を予定</li> </ul> </li>   <li>・ 子ども部会           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 市内事業所との横のつながりや地域課題の抽出、情報共有を目的に交流会、研修会の開催を予定 (年 2 回予定、グループワークあり)</li> </ul> </li>   <li>・ 社会資源調査チーム           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 清田区内地域資源マップの作成、防災マップの更新</li> <li>➢ 事業所等の社会資源調査の準備、実施予定</li> </ul> </li> </ul>

部会運営で工夫していることや困っていること

(工夫していること)

- ・新しい部会員加入への勧誘方法について、積極的な声掛けや研修案内、運営委員会の会議議事録の送付をすることで地域部会の取組が見える化する活動に取り組んでいる
- ・清田区での困りごとを各会員より抽出できるよう、研修会におけるグループワークや交流会での意見の集め方、地域課題の整理、検討の手法を運営委員全員で検討している

(困っていること)

- ・運営委員などを担ってもらう人材を確保するために、区内事業所に対して地域部会の活動をPRするが、加入に向けての勧誘が難しい

# 南区地域部会

## 令和5年度の主な活動実績

- ★ 対面研修や茶話会、グループワークの実施及び振り返り
- ★ 区内事業所との交流会や茶話会、グループワークで抽出された課題の整理、および課題を踏まえた研修会の企画
- ★ 専門部会（2部会）での課題抽出と課題解決に向けた具体的行動計画

## 活動概要

<p>令和5年度 活動実績</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・運営委員会（毎月実施）<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 事務局会議と合同として実施した。</li><li>➤ 各部会活動状況確認と検討事項の承認、決定を行った。</li><li>➤ 専門部会のあり方を検討し、事例検討課題抽出部会とネットワーク情報共有部会を地域課題解決部会として統合した。</li><li>➤ 全体会を5月と11月に実施し、5月は虐待防止、11月は相談室の役割について学習会を行ったほか、それぞれ茶話会およびグループワークを行い、意見や情報を交換した。</li></ul></li><li>・地域課題解決部会（7月、10月、12月、3月）<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 課題の整理を行い、新人研修の場が少ないこと、事業所間での顔合わせの機会が少なくのつながりが持ちづらいなどの課題を抽出した。</li><li>➤ 運営委員会へ課題を報告し、課題解決に向けて全体会等で研修や茶話会、グループワークを企画し、実施した。</li></ul></li><li>・子ども部会（8月、11月、3月）<ul style="list-style-type: none"><li>➤ サポートファイルさっぽろの活用が課題との意見が出て、活用や周知について検討した。</li><li>➤ オンラインワーキングスペースを開設し、部会の活動内容について情報共有を行った。</li></ul></li></ul>
-----------------------	---

<p>令和6年度 活動予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南区自立支援協議会の広報について検討</li> <li>・運営委員会と事務局の在り方を検討</li> <li>・地域課題解決部会 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 事業所の交流会や茶話会の継続と、事例検討会の実施。またこれらを通じた地域課題の抽出と集約、検討</li> <li>➤ 区内事業所から検討依頼があった事例について検討</li> </ul> </li> <li>・子ども部会 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 茶話会、勉強会の実施</li> <li>➤ 区内児童関係事業所ガイドブックの作成と配布</li> <li>➤ 子ども部会の広報誌を年4回発行し、情報発信</li> </ul> </li> </ul>
<p>部会運営で工夫していることや困っていること</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各専門部会がそれぞれ課題を整理し、それぞれが積極的に活動を行っている。</li> <li>・全体会の申込やアンケートはオンラインで行い、部会の事務効率化を図っている。</li> <li>・部会の活動について、区内の事業所への広報活動が不足している。</li> <li>・茶話会や研修会を再開し始めたが、事業所間で顔を合わせる機会がまだまだ少なく、コミュニケーション不足がある。</li> </ul>	

# 西区地域部会



## 令和5年度の主な活動実績

- ★ 事務局会議を対面で開催。
- ★ 全体会を1回、元気の出る交流会を2回、いずれも参集して開催
- ★ 相談支援推進会議を3回開催
- ★ 西区子ども部会で交流会を3回開催

## 活動概要

令和5年度 活動実績	<ul style="list-style-type: none"><li>・事務局会議を開催（5月、8月、11月、2月）<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 全体会や交流会の開催及び内容の検討</li><li>➢ 全体会で挙げられた地域課題の整理</li></ul></li> <li>・第1回全体会を開催（6月）<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 今年度の活動予定について</li><li>➢ 令和5年度元気の出る交流会のテーマの検討と構成員の役割分担について</li></ul></li> <li>・第1回元気の出る交流会を開催（10月）<ul style="list-style-type: none"><li>➢ テーマ 「各障がい福祉サービス形態の立場から見える問題とそれについて思うこと」 児童デイ、訪問介護、医療ソーシャルワーカー、就労支援の4分野から発表。その後グループワークの中で発表についての感想や各自の事業所で課題になっていること等を話し合う。</li></ul></li> <li>・第2回元気の出る交流会を開催（1月）<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 障がい福祉サービス事業者向け事業所説明会 19事業所（児童6、通所系9、その他4）が出展し、西区内外から80人程が来場。出展事業所の説明と共に来場者との情報交換を行った。</li></ul></li> <li>・相談支援推進会議の開催 （8月）<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 委託相談支援事業所と西区役所保健福祉課との間で情報交換 （12月）</li><li>➢ 中央区・西区・手稲区相談支援事業所意見交換会 （3月）</li></ul></li></ul>
---------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 事例検討会</li> <li>・西区子ども部会の交流会を開催 (5月) <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ テーマは「連携」。自立支援協議会についてのミニレクチャー及びグループワークを行う。</li> </ul> </li> <li>(9月) <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ テーマは「学校」。現役の校長先生を講師に迎え、学校の現状や制度について学ぶ。その後グループワークを行う。</li> </ul> </li> <li>(2月) <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ テーマは「早期療育」。西保健センターから講師を2名招き、保健センターの機能、健診時の見立てやその後の社会との関わり及び乳児健診から始まる関係機関との連携について学ぶ。その後早期療育から考える「連携」についてグループワークを行う。</li> </ul> </li> </ul>
令和6年度活動予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局会議の開催。</li> <li>・全体会の開催</li> <li>・元気の出る交流会の開催（3回）。</li> <li>・相談支援推進会議の開催。</li> <li>・子ども部会の交流会を開催。</li> <li>・就労支援部会の創設を検討する。</li> </ul>
部会運営で工夫していることや困っていること	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの流行前は、構成員それぞれに役割分担があったのだが、流行中は全体会や交流会の企画運営を事務局員が行ってきたため構成員の存在意義が薄くなっていた。令和5年度当初に改めて構成員として交流会の企画運営に協力できるのかどうかの意思確認を行った。</li> <li>・4年振りに参集しての全体会や交流会を行い、参加者の3分の2程度は初参加であった。改めて事業所間の顔の見える関係作りができるよう交流会等を企画していく。</li> </ul>	

# 手稲区地域部会



## 令和5年度の主な活動実績

- ★ 事業所交流会および各グループで研修会を実施
- ★ 事業所製品販売会を年2回実施
- ★ 「第32回ていね夏あかり」の実施に協力
- ★ JR手稲駅 あいくる広場にて手稲区障がい福祉活動PR展を開催

## 活動概要

<p>令和5年度 活動実績</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・事務局<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 毎月第1回目の金曜日15:30～17:00に定例会を開催。事務局会議は奇数月、拡大事務局会議は偶数月に実施</li><li>➢ 手稲区地域部会 Facebook ページへの投稿</li><li>➢ 令和5年7月16日第32回ていね夏あかりに参画。縁日への出店・協賛企業の募集・ちょうちん製作の橋渡しを行った</li><li>➢ 令和5年5月27日(金)、コロナ禍以降初めて「全体会」を対面開催した</li><li>➢ 令和5年12月1日(金)～7日(木)の一週間、手稲区障がい福祉活動PR展を開催</li></ul></li><li>・地域生活支援グループ<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 月に1回定例会を開催</li><li>➢ 令和5年5月に手稲区内障害福祉サービス事業所を対象に事業所交流会を開催<ul style="list-style-type: none"><li>→部会参加5事業所を会場に事業所見学と職員間交流を行った</li></ul></li><li>➢ 令和5年6月2日および10月20～21日に手稲神社ガレージにて、事業所製品販売会「ていねうえるふえあま〜けっと」を開催</li><li>➢ 10月3日および2月9日にグループ主催研修会を実施<ul style="list-style-type: none"><li>→はるにれの里 自閉症者地域生活支援センターなないろの加藤所</li></ul></li></ul></li></ul>
-----------------------	--

	<p>長を講師に招き、発達障がいのある方との関り方がテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ こどもグループ <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 毎月第4金曜日11:00～12:00に、定例会を実施</li> <li>➤ 2023年11月10日(金)、12月15日(金)、2024年1月12日(金)の全3回シリーズで『不登校』をテーマに勉強会を開催。札幌市教育委員会や医師を講師に招き、オンライン開催の他、会場を確保し対面による開催を実施</li> <li>➤ 2023年12月1日～12月7日、JR手稲駅にて手稲区障害福祉活動PR展を地域生活支援グループと共同開催</li> </ul> </li> </ul>
<p>令和6年度 活動予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 毎月第2回目の金曜日15:30～17:00に事務局会議を開催。そのうち偶数月は拡大事務局会議とする</li> <li>➤ 令和6年秋頃に、「全体会」を開催予定</li> <li>➤ 令和6年7月14日(日)に北海道科学大学で実施される「第33回ていね夏あかり」に縁日出店・ちょうちん製作・協賛金集めに協力し参画する</li> <li>➤ 令和6年12月の第1週目の1週間、JR手稲駅構内あいくる広場で「手稲区障がい福祉活動PR展」を開催する</li> </ul> </li> <li>・ 地域生活支援グループ活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 月1回の定例会を実施</li> <li>➤ 6月に事業所製品販売会「ていねうえるふえあま～けっと」を開催</li> <li>➤ 9～10月と1～2月にそれぞれ、研修会を開催</li> <li>➤ 障がい支援区分の認定調査結果についての情報収集を行う →調査センターへ調査が委託されるようになってから、これまでと区分が変わるケースが増えているという声を受け、ケース収集を行っていく</li> </ul> </li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもグループ <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 令和6年4月の障害福祉サービス等報酬改定に関連し、医ケア児・重心・強度行動障害に関する勉強会を企画中。手稲区の通所系事業所にむけて、受け入れ状況や困りごとなどのアンケートを実施予定</li> </ul> </li> </ul>
<p>部会運営で工夫していることや困っていること</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・工夫していること <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ Google ツールを活用するなどして会議の資料作成と配布の際の負担を軽減している</li> <li>➤ 地域生活支援グループの情報共有では Slack を活用している</li> <li>➤ Facebook ページへの投稿が滞らないよう、令和6年度からは最低月に1回事務局メンバーの中で当番を決めて投稿する予定</li> </ul> </li>   <li>・困っていること <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 勉強会を開催すると、他の地域の参加者に比較し手稲区内の事業所の参加者が少ない。その点を考慮し、今年度は手稲区内の福祉事業所にむけてアンケートや宣伝を集中的に行う予定</li> <li>➤ 定期的な会議や不定期の研修会やイベントの開催曜日と時間について、ライフワークバランスを考慮したいと考えつつも現実的に参加しやすい時間に配慮すると、希望の曜日と時間が分かれ、日時を決めかねる</li> </ul> </li> </ul>	

# 地域部会連絡会

## 令和5年度の主な活動実績

- ★ 各区地域部会における活動の取り組み状況を共有した
- ★ 各区地域部会が有する地域課題の共有と協議を行った

### 活動概要

令和5年度 活動実績	<p>○定期的に会議を開催</p> <p>5/16、9/13、12/6、2/22の4回、全てzoomで開催した。</p> <p>➤各区地域部会の近況報告を行い、活動内容や困りごとについて、情報交換をした。</p> <p>➤豊平区と東区から重度訪問介護の非定型の支給量決定の問題について市域の問題として取り扱ってもらうよう、全体会へ提案したことを共有し、各区へのアンケートの協力依頼などを行った。</p> <p>➤各区地域部会の活動資金不足について議論した。</p> <p>➤各区地域部会の役員及び会議の呼称について統一するか議論した。 各区地域部会の成り立ちや特性があるため、現段階では保留した。</p> <p>➤各区地域部会での強度行動障がいに関する研修等の取り組みについて情報共有を行い、わかりやすくまとめられないか議論した。</p> <p>➤中央区地域部会から提案のあった「ヘルパーの実態調査（アンケート）」を「ヘルパーサービスの現状に関するアンケート」とし、全市のヘルパー事業所および相談支援事業所への実施について、各地域部会で周知協力を行った。</p>
---------------	---

○構成：各区地域部会長

○事務局：札幌市保健福祉局障がい保健福祉部障がい福祉課

さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール

# 相談支援部会

## 令和5年度の主な活動実績

年間活動計画に沿った活動を実施。

定例会（5月、9月、2月）、事務局会議（4月、6月、8月、11月、1月、2月、3月）、エリア会議（4月、7月、12月）、巡回法律相談会（全12回）、地域支援員会議（6月、10月、3月）、ピアサポーター事業所会議（4月、7月、10月、1月）に開催。

エリア会議を中心に権利擁護（虐待や成年後見）のケースや制度の共有、課題調べシート・差別解消シートの提出と共有、巡回法律相談会の共有、指定相談支援事業所との意見交換会の共有、計画相談の引継ぎや各事業所独自の取り組みについての共有、派遣会議や関連会議の参加と会議報告書の共有、地域支援員会議の報告と共有等を実施。

### 活動概要

<p>令和5年度 活動実績</p>	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 相談支援部会定例会3回、事務局会議7回、エリア会議3回を開催した。提出された課題調べシートのエリア会議での話し合い方について事務局会議で確認し、エリア会議の中で話された事を定例会で報告・共有して各相談員のスキルアップを図った。 各事業所やエリア独自の取り組みについて報告・共有したり、新しい障がい福祉サービス事業所についての情報交換等も行っている。 派遣会議・関連会議については各々会議報告書を作成し、定例会にて共有している。全部で23の会議に参加している。</li><li>2. 目安検討チーム会議を経て作成した札幌市からの通知「相談支援体制の充実・強化に向けた取組について（平成30年4月6日付札幌第157号）」の解説書を、各区で説明・共有した。</li><li>3. 巡回法律相談会は昨年度から原則オンラインでの開催としている。 相談内容は成年後見や債務整理、身元保証など幅広く、相談業務が多岐に渡っているという事が推測できる。 巡回法律相談会に関わる個人情報の取扱について札幌市と整理を行っている。 令和5年度法律相談件数：51件</li></ol>
-----------------------	--

	<p>4. 強度行動障がい、重度障がいの方の住まいに関するアンケートの結果を定例会で共有し、調査結果を施策推進協議会に報告した。その他、事務局会議内でアンケートの考察を行い、考察した結果を定例会で報告・共有した。</p>
<p>令和6年度 活動予定</p>	<p>○令和6年度の重点目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題調べシートから、課題の解決策を検討する。</li> <li>・課題調べシートから、相談支援事業所間の格差解消に向け、知識や情報の共有を図る。</li> <li>・巡回法律相談会への相談や参加者からの相談により、法律的知識を身につけ相談援助技術を磨く。</li> <li>・地域責任性をより意識し、指定相談支援事業所との連携強化による相談支援体制の構築を目指す。</li> <li>・障害者虐待防止法に関する現状の確認と動き方の共有を図る。</li> <li>・成年後見制度利用における課題の共有と成年後見推進センターの活用について共有する。</li> <li>・令和7年度以降の相談支援部会体制（役割等）の再編に向けた準備を進める。</li> </ul>
<p>部会運営で工夫していることや困っていること</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度からは、体制を整備し、部会長・副部会長（役員）に業務が偏らないよう、業務の平準化を目指し分担した。そのため、これまで担わなかった事業所も講演や会議参加等で外部とつながる機会が増えることになった。</li> <li>・23ある派遣会議については、役員・エリア代表といった事務局会議に参加しない事業所が全て担うことになったが、令和6年度については「移行期間」ということで、旧体制のまま派遣会議に参加することも容認されている。</li> <li>・効率良く部会運営ができる事や見通しを持って活動できる体制を目指し、年間の会議スケジュールを決めている。</li> <li>・部会長に立候補する人がいなくて困っている。</li> </ul>	

# 就労支援推進部会

## 令和5年度の主な活動実績

- ★ 定例会・学習会の開催
- ★ 運営委員会の開催
- ★ 各種チーム（研修企画チーム、広報チーム、事業提案チーム）の活動
- ★ その他の活動

### 活動概要

令和5年度 活動実績	<ul style="list-style-type: none"><li>★ 就労支援推進部会 部会構成員 定例会・学習会の開催 6月9日(金)、みなみの杜高等支援学校体育館、102名(66機関)参加。 学習会では、就労継続支援事業所にも努力義務が課せられている一般企業就労にむけた求職活動や職場定着支援において、地域関係機関と連携した取り組みを促進していくことを目的に、障害者職業センター、ハローワーク、就業・生活相談支援事業所（ナカポツ）、高等支援学校等、連携機関の役割や機能について学び、グループワークで意見交換を行なった。</li><li>★ 運営委員会の開催 7月27日(木)、10月25日(水)、2月27日(火)</li><li>★ 各チームの活動<ul style="list-style-type: none"><li>● 研修企画チーム<ul style="list-style-type: none"><li>・2023 JC-NET 就労支援基礎セミナーin札幌 基礎講座 10月2日(月) オンライン 実践講座 10月3日(火) 産業振興センター参集 32名参加</li><li>・JC-NET 企業向けセミナー 基礎講座 11月01日(水) オンライン 18名参加 実践課程 11月22日(水) 産業振興センター 20名参加</li></ul></li><li>● 広報チーム<ul style="list-style-type: none"><li>・さぽコン（若手支援者の意見を聴く会） 2月21日(水) キャリアバンク 20名参加</li><li>・さぽサポ（就労支援推進部会 活動周知の広報誌）の発行</li></ul></li><li>● 事業提案チーム（3月18日(月)、オンライン） 増え続ける就労継続支援事業所の支援の質を高めるため、事業所指定のあり方（総合支援法が「地域ニーズを踏まえ指定に際し必要な条件を付すことができる」と改正されたことを受け）など協議。</li></ul></li></ul>
---------------	--

	<p>また、令和7年10月に予定されている「就労選択支援事業」創設にむけ、就労アセスメント力の底上げや、アセスメント結果を踏まえ、必要なサービス利用や支援が受けられる地域支援体制構築の必要性などについて、次年度以降も協議を継続し施策提言へと繋げていく。</p> <p>★ その他の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 札幌職リハ連絡会議 札幌市内3所のハローワーク、障害者職業センター、札幌市就業・生活相談支援事業所(ナカポツ5所)、北海道労働局、札幌市障がい福祉課の11機関で各種連携にむけた情報交換や協議を行なった(5月22日(月)、2月7日(水)、オンライン)。</li> <li>● コロナ禍で中断していたハローワーク3管轄毎Hw・ナカポツの連携強化にむけた会議を再開し、管轄毎に求職者支援・企業支援(職場アセスメントや雇入れ提案への同行)など連携して取り組んだ。</li> <li>● 障がい者活躍推進セミナー・採用担当者交流会 への協力 札幌市商工会議所で初めて開催された企業担当者と就労移行支援事業所との交流機会の企画・周知・運営に協力した。(7月14日(金)、北海道経済センター、(企業30社、就労移行30事業所)</li> </ul>
<p>令和6年度 活動予定</p>	<p>★ 部会構成員定例会・学習会の開催 (5月10日(金)、かでの2・7参集 予定)</p> <p>★ 運営委員会の開催</p> <p>★ 各チーム会議の開催・各種活動</p> <p>事業提案チーム… 事業所指定や地域連携体制の提案にむけた協議 研修企画チーム… 就労支援の基礎的な研修内容の検討、実施 JC-NET 共催 職場適応援助者養成研修(10月予定) 広報チーム … さぼコン開催、広報誌発行 等</p> <p>★ その他の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌商工会議所で、企業担当者と就労移行支援事業所の交流機会に加え、企業担当者が就労移行支援事業所等を見学する機会(年2回)の実施にむけた相談を頂いた。周知・運営などに協力していく</li> <li>・札幌職リハ連絡会議・ハローワーク管轄毎のHw・ナカポツ連携強化にむけた会議を継続し、Hw管轄毎に、就労系サービス事業所等も交えた学習(Hwの活用・連携方法など)や交流機会の実施を目指す。</li> </ul>
<p>部会運営で工夫していることや困っていること</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・部会構成員定例会、さぼコン、各種研修の実践課程など、顔の見える関係づくりに有効な機会は、オンラインではなく、参集形式を再開して実施した。</li> <li>・運営委員や各チームメンバーが減少・固定化してきており、部会活動の活性化や世代交代を進めるため、運営委員やチームメンバーへの参画を広く働きかけていく予定。</li> </ul>	

# 子ども部会



## 令和5年度の主な活動実績

★ 事務局会議（12名）および運営委員会（20名）を定期的に開催（Zoomによる）
★ 研修会を3回開催（対面による）
★ さっぽろこども発達支援ガイドブック（学齢期）を改訂
★ 札幌市の各種審議会に参加

## 活動概要

令和5年度 活動実績	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修会 ① 4/15 『地域みんなで子どもを育てる』 講演とパネルディスカッション（40名参加）</li><li>② 9/4 『子ども発達支援者支援力向上セミナー』 講演とグループワーク（80名参加）</li><li>③ 1/30 『全体研修会』 （児童発達支援センター長会議と共催） 講演とシンポジウム（100名参加）</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 札幌市子ども子育て会議、同・児童福祉部会、同・処遇部会への参加</li><li>・ 札幌市要保護児童対策協議会への参加</li><li>・ 札幌市医療的ケア児検討委員会への参加</li><li>・ 札幌市障がい者施策推進審議会計画検討部会への参加</li></ul>
令和6年度 活動予定	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 子ども部会ニュースの発行</li><li>・ 研修会の開催<ul style="list-style-type: none"><li>① 子ども発達支援者支援力向上セミナー</li><li>② 社会的養護関係者研修会</li><li>③ 全体研修会</li></ul></li><li>・ 障がい児支援に係る各会議に参加</li></ul>

### 部会運営で工夫していることや困っていること

- ・事務局・運営委員の世代交替にともなう担い手の確保～責任ある役割ではあるが民間委員のほとんどはボランティアという現実に対応すればよいのか悩んでいます。
- ・里親による児童虐待が起こり、子ども子育て会議に委員を出している子ども部会も、その責任の重さを痛感しているところです。部会内部での研修・事例検討などを重ね、より専門的な提言や審査を行わなければならないと感じています。

# 専門部会連絡会



## 令和5年度の主な活動実績

★ 課題コロナ禍により中断して（令和元年12月15日が最後の開催となっていた）いた専門部会連絡会議を再開し、継続開催していくこととなった。

### 活動概要

令和5年度 活動実績	<p>・10月17日（オンライン会議）</p> <p>コロナ禍で休止していた「障がい者支援員養成研修レベル1・2」の存続について協議</p> <p>→ 各専門部会に持ち帰り、存続必要性を検討することに</p> <p>今後の会議開催頻度を協議</p> <p>→ 各専門部会間の情報交換を目的に年2回（2月・8月）継続実施することに</p> <p>・2月6日（オンライン会議）</p> <p>「障がい者支援員養成研修レベル1・2」の発展的解消とする方針を確認し、第41回全体会で報告</p> <p>→ 就労支援推進部会で、基礎的研修（3部会の構成員も参加可能な方向性で）として実施する方向性で検討することに</p> <p>→ これまでのレベル1・2研修参加費の残金は、就労支援推進部会で実施する研修（3部会の構成員も参加可能な方向性で）の経費とすることに</p>
---------------	---

○構成：就労支援推進部会、相談支援部会、子ども部会

○事務局：札幌市保健福祉局障がい保健福祉部障がい福祉課

さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール

# 運営会議



## 令和5年度の主な活動実績

- ★ 各部会から提出された地域の課題について、解決に向けて対応を検討した。
- ★ 中央区地域部会から提出されたヘルパー調整の難しさに関する課題について、アンケート調査を実施した。
- ★ 終了したプロジェクトチームの残された課題の取組方針を検討・確認した。

## 活動概要

<p>令和5年度 活動実績</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・5月、7月、9月、11月、1月、3月にオンライン会議を開催した。</li><li>○東区地域部会から提出された課題への対応の検討<ul style="list-style-type: none"><li>・「強度行動障がいに関わる課題」及び「ヘルパーの人材不足に関わる課題（人材 獲得・育成・定着など）」について対応を検討。</li><li>・運営会議内及び地域部会連絡会で課題に関連する取組を行う機関又は取組事例等の情報収集を行った。専門機関による取り組みを中心にいくつかの内容を可視化できた。今回の内容からは、協議会として具体的に取組むものとしての情報には至らず、今後も各部会や専門機関の取組等の情報共有を継続することとなった。</li></ul></li><li>○ヘルパー調整の難しさに関する課題についてのアンケート調査<ul style="list-style-type: none"><li>・中央区地域部会で実施した調査をもとに、市内の居宅介護事業所及び相談支援事業所を対象として、市内の実態把握をするためのアンケート調査を実施した。</li><li>・分析結果をまとめ、市域及び各部会で取り組む内容を整理する予定。</li></ul></li><li>○終了したプロジェクトチームの残された課題の取組方針の検討<ul style="list-style-type: none"><li>・専門部会連絡会に引き継がれた「障がい者支援員養成研修 障がいのある方の支援の基礎を学ぶ レベル1、2」の今後について発展的解消とする方向性を検討した。</li></ul></li><li>○その他<ul style="list-style-type: none"><li>・重度身体障がい者の地域生活に関するプロジェクトチーム及び札幌</li></ul></li></ul>
-----------------------	--

	市障がい者施策推進審議会計画検討部会の取組状況について共有した。
令和6年度 活動予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルパー調整の難しさに関する課題について、結果分析と結果を踏まえた取組の検討を継続する。</li> <li>・協議会における情報の共有化の在り方について、地域の現状を踏まえて検討していく。</li> <li>・プロジェクトチーム化されていない課題の整理状況を再確認する。</li> <li>・自立支援協議会の活用について、札幌市役所の他部局へ働きかけを行い、他の協議会等へ積極的に参加していく。</li> </ul>

○構成：会長、副会長、地域部会長5名、専門部会長3名

○事務局：札幌市保健福祉局障がい保健福祉部障がい福祉課

さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール

課題の整理状況	平成 25 年度 (H26.3)	平成 26 年度 (H27.3)	平成 27 年度 (H28.3)	平成 28 年度 (H29.3)	平成 29 年度 (H30.3)	平成 30 年度 (H31.3)
課題整理後仕分け実行へ	8	14	20	40	70	54
課題整理後仕分け実行し、 一定の改善がみられた	—	—	—	—	—	45
課題整理中	4	37	45	49	28	5
部会再検討へ	2	7	2	2	0	0
部会で解決済み	3	3	3	3	3	3
未着手	23	8	8	3	0	0
<b>計</b>	<b>40</b>	<b>69</b>	<b>78</b>	<b>97</b>	<b>101</b>	<b>107</b>

課題の整理状況	令和元年度 (R2.3)	令和2年度 (R3.3)	令和3年度 (R4.4)	令和4年度 (R5.3)	令和5年度 (R6.3)
課題整理後仕分け実行へ	54	62	62	66	<b>66</b>
課題整理後仕分け実行し、 一定の改善がみられた	45	45	45	46	<b>46</b>
課題整理中	7	0	0	0	<b>7</b>
部会再検討へ	0	0	0	0	<b>0</b>
部会で解決済み	3	3	3	3	<b>3</b>
未着手	0	0	0	0	<b>0</b>
<b>計</b>	109	110	110	115	<b>122</b>

市域協議会への報告年度	課題No
平成24年度	1～18
平成25年度	19～40
平成26年度	41～69
平成27年度	70～78
平成28年度	79～97
平成29年度	98～101
平成30年度	102～107
令和元年度	108～109
令和2年度～4年度	110～115
<b>令和5年度</b>	<b>115～122</b>

# 全体会

## 令和5年度の主な活動実績

- ★ 重度身体障がい者の地域生活に関するプロジェクトチームの取組に関する報告。
- ★ 地域生活支援拠点検証委員会に関する報告。
- ★ 札幌市障がい者施策推進審議会計画検討部会に関する報告。
- ★ 「さっぽろ障がい者プラン2018」の進捗及び「さっぽろ障がい者プラン2024」の策定状況に関する説明。

## 活動概要

<p>令和5年度 活動実績</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>◇ 第40回自立支援協議会（令和5年6月21日開催）<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 各部会からの報告をもとに令和5年度の年間活動報告書を決定し札幌市へ報告。</li><li>➤ 地域生活支援拠点検証委員会における運用状況及び課題に関する報告を受けた。</li><li>➤ 札幌市自立支援協議会好事例集の完成を報告。</li><li>➤ 重度身体障がい者の地域生活に関するプロジェクトチームの設置を承認。</li><li>➤ さっぽろ障がい者プラン2024の策定方針の説明を受けた。</li></ul></li><li>◇ 第41回自立支援協議会（令和5年12月5日開催）<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 各部会及び運営会議から活動状況の中間報告を行った。</li><li>➤ 専門部会連絡会の報告に基づき、「障がい者支援員養成研修 障がいのある方の支援の基礎を学ぶ レベル1、2」について 発展的解消とする方向性を確認した。</li><li>➤ 重度身体障がい者の地域生活に関するプロジェクトチームから活動報告を行った。</li><li>➤ 札幌市障がい者施策推進審議会計画検討部会に参加する委員から提言状況等に関する報告を行った。</li></ul></li></ul>
-----------------------	---

	<p>➤ 「さっぽろ障がい者プラン 2018」の進捗及び「さっぽろ障がい者プラン 2024」の素案について、説明を受けた。</p>
令和6年度 活動予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、各部会やプロジェクト、運営会議の活動内容を共有しつつ、関連機関との連携を進めながら、地域の課題から新たな資源の開発に結び付けていく。</li> <li>・委員の一斉改選及び会長・副会長の改選を予定。</li> </ul>

○構成：委員名簿に記載のとおり（分冊3参考資料編に掲載）

○事務局：札幌市保健福祉局障がい保健福祉部障がい福祉課

さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール

# 重度身体障がい者の地域生活に関する プロジェクトチーム



担当委員：小熊委員

## 令和5年度の重点項目（再掲）（令和7年度末プロジェクト終了予定）

- ・ 重度訪問介護の非定型申請の問題を含めた重度身体障がい者の地域生活全般についての困りごとに関するアンケート調査と整理を行う。
- ・ 非定型申請については、書面だけではなく、実際の利用者の生活を理解した上で各区保健福祉課が支給決定を行えるように、相談支援専門員、障害福祉サービス事業者、審査会委員同席のもと、数件の訪問視察の準備を、可能な限りアンケートと並行して行う。

### 活動概要

令和5年度 活動実績	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 毎月会議実施</li><li>・ 重度身体障がい者の地域生活での困りごとで何から行うか検討</li><li>・ 重度訪問介護、重度訪問介護非定型についてからはじめることに<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 重度訪問介護及び重度訪問介護非定型、その他についてアンケートの内容検討</li><li>➢ 1月2月にかけてアンケート調査実施 相談支援事業所、居宅介護事業所、障がい当事者対象</li><li>➢ アンケート調査後の整理・分析</li></ul></li><li>・ 訪問視察実施の計画<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 行政の方を含め実際の重度障がい者宅を訪問し、実態を視察する</li></ul></li><li>・ その他重度の身体障がいの者の地域生活での困りごとを（制度について、支給時間、介助内容、人材不足等）抽出</li></ul>
---------------	---

令和6年度 活動予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きアンケートの内容の整理、課題の抽出 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ アンケートから見えてきた課題等をまとめ、解決方向を検討</li> </ul> </li> <li>・訪問視察を6月頃実施と共に研修会のための録画を撮る <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 重度身体障がい者の生活実態を視察することで理解を深める</li> </ul> </li> <li>・重度身体障がい者の研修会を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 広く重度の障がいの者の生活実態を知ってもらい理解してもらうことを目的とする</li> </ul> </li> <li>・重度訪問介護非定型が地域生活を送るうえでの課題を整理する。</li> <li>・その他重度身体障がい者の地域生活での困りごとを（制度について、支給時間、人材不足、親なき後問題等）抽出し課題解決に向けて検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 課題を具体的に抽出し、今後の活動を検討</li> </ul> </li> </ul>
---------------	---

## 課題の概要

<p>・重度訪問介護非定型給付について、給付に至るまでの時間や、「見守り」「手待ち時間」等について、行政（障がい福祉課）と障がい福祉事業所や相談支援事業所、障がい当事者がお互いの理解を深め、重度身体障がい者の方達の地域生活がより良いものになるよう、より実態に即した事業運用を進めていく必要がある。</p> <p>・重度身体障がい者が地域生活を送るにあたって、制度、人材不足、親なき後等の課題が山積している</p>
--

## プロジェクトの目標

<p>課題ごとの解決を目指し、最終的には令和9年障害者プランの数値改定に間に合うように提案を行う。</p>
---

## 構成員 敬称略

分野	所属	氏名
学識経験者	北海道医療大学 看護福祉学部福祉マネジメント学科 講師	近藤 尚也
障がい当事者	北区地域部会 部会長	紺野 順子
障がいサービス事業所 (通所)	株式会社マザー 企画広報室 室長 札幌アシストセンターマザー相談支援事業所	小谷 晴子

障がいサービス事業所 (居宅)		
相談支援事業所	相談支援事業所グリーンハイム(委託相談支援事業所)	山田 訓義
	相談室あんど(指定相談支援事業所)	伊西 夏恵
豊平区地域部会	特定非営利活動法人イコール	小熊 広道
当事者家族	北海道重症心身障害児(者)を守る会	太田 由美子
協議会運営会議委員	特定非営利法人障がい者就労支援の会 あかり家	妻倉 ゆかり

(事務局)

札幌市障がい福祉課	齊藤、渡辺
さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール	赤杉、高村

令和5年度札幌市自立支援協議会年間活動報告書

<分冊1 年間活動報告編>

編集・発行 札幌市自立支援協議会

<http://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/tiikijiritusien/tiikijiritusien.html>

